

委員会報告

2014～2015年度

No.1

第 5 回

委員会名

IT委員会

委員長名

L 佐原 幸雄

開催日時	2014年12月18日 木曜日 15時45分～17時30分					
開催場所	キャビネット事務局会議室(大)					
出席者		塩月地区ガバナー		近藤第1副地区ガバナー		村木第2副地区ガバナー
	○	L 佐原 幸雄 委員長	○	L 矢田部 満 副委員長	○	L 伊藤 雅行 副委員長
	○	L 太田 正利 副委員長	○	L 茶谷 彰彦 委員	○	L 宇田 英樹 委員
	○	L 篠崎 美千代 委員	○	L 上辻 利隆 委員	×	L 大和 祥郎 委員
	○	L 片山 弘道 委員	○	L 荘 英隆 SPA		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
		L 委員		L 委員		L 委員
	出席オブザーバー					
	○	L 伊賀 保夫副幹事				
						合計 11名
	次 第	司会・進行 L伊藤 雅行				
1		委員長あいさつ、司会・議事録記録者の指名				
2		担当副幹事あいさつ・連絡事項				
3		1月～3月の地区内イベントの取材について				
4		地区HPの更新状況				
5		委員会諮問事項の具体的検討①～⑤・・・特にサバナ入力方法の指導				
6		年次大会映像部会の準備事項について				
7		会員増強委員会作成のHPIについて				
8		その他				
9		次回委員会の開催予定についての確認				
議 題	審議経過事項の概要					
	1	佐原委員長より「今期も前半期が経過し、委員各位においては日頃の委員会活動に理解を頂き恙なく進行したことに感謝しており、後半期には年次大会を始め大きなイベントが予定されておりますので引き続き皆さんの協力のもと乗り切っていきたい」との挨拶があった。尚、これに先立ち司会を伊藤副委員長、議事録作成者に宇田委員が委嘱された。				
	2	年次大会の組織編成については、IT委員会は映像部会として機能してきたが、今回もそれを踏襲する方向との説明が佐原委員長からあった。				
	3	来年3月11日に池袋の芸術劇場で行われる「震災チャリティー」は1,900名分のチケットを販売し、内訳は15,000円券が200枚、6,000円券が1,700枚となり				
		11月25日のキャビネット会議で承認された旨、伊賀副幹事から報告があり更に、今後はチケットの販売に、ご協力いただくようお願いしたいとの要請があった。				

審議経過事項の概要	
	この「震災チャリティー」に関し、有料出演の「郷ひろみ」に対して無償出演の自衛隊音楽隊への配慮をどのようにするかは、ライオンズクラブとしてのレゾナートルであるとの指摘が荘SPAからあった。当該イベントでの取材者のチケットは伊賀副幹事から梶原キャビネット幹事へ話をし都合するとの事で、イベント全体を通して写真撮影の基準や撮影者の重複等調整項目を指摘された。来年1月19日の臨時第一回キャビネット会議後の賀詞交歓会の取材は谷田部副委員長が行う事とした。
4	地区HPに投稿された2件について以下の指摘があった。 ①「14R1Zおよび青少年健全育成委員会」のツリークライミングについて投稿記者が委員長になっているが？②「東日本復興支援アクティビティー、チームKAWAI」とあるが？ 以上2点の投稿についてアクティビティーはクラブ主催という原則からすると如何なものかとの指摘があり、各投稿元に問い合わせと考えを聴取することを伊賀副幹事が了解した。尚、投稿原稿の改編についてIT委員会としては現在、文字角の統一と誤字の訂正は行うが投稿者が伝えたい記事の雰囲気を生かすため、投稿原稿に手を加えることは行っていない。とのスタンスを伊藤副委員長が説明した。また、キャビネットとしての見解も確認するとの伊賀副幹事からの補足意見があった。
5	他項目議事次第と重複および関連事項につき割愛
6	年次大会当日(平成27年4月18日)の実働の可否を各委員に確認のうえ今後予定される会議には、極力参加して年次大会のイメージを掴んで頂きたいとの指示が佐原委員長からあり、年次大会での具体的な仕事内容は前例踏襲の部分も含めて今後詰めていくとの付言があった。
7	会員増強委員会とのコミュニケーションの取り方の巧拙がHPの質に影響するので小川委員長はじめ手掛けた担当も含めてアプローチをし、作業の進み具合も慎重に見極めたい。「われわれは奉仕する」とのキャッチは読む主体によって違和感を感じるのではないか。「ライオンズクラブ」のイメージイラストと色彩配置はHP全体のバランス感と親和性に欠けるのではないかなどの意見が出た。
8	佐原委員長から各委員に対して半期が経過した感想と後半期に向けてのコメントを求められ今後、IT委員会には時代の要請としてその役割が必然として求められるので諮問事項の消化のみならず、国際協会からみた日本のライオンズ、330-A地区という視点も忘れてはならない。また、サバンナやMyLCIの理解、国際協会の運用するシステムとの相違を感得することは、今後の各クラブ運営の機動性にも影響することなので必須の知識として得て欲しいとの指摘が佐原委員長、伊賀副幹事、荘SPAからあった。
9	次回第六回IT委員会の日時場所を確認した。
議 題	
次回開催日時	2015年1月30日 金曜日 15時45分 ~ 17時30分
場所	キャビネット事務局会議室(大)
	作 成 者
	L宇田 英樹